

沖縄総合事務局国営土地改良事業事前評価技術検討会（第一回）議事概要

1 日 時 : 平成25年6月12日（水） 15：45～17：00

2 場 所 : 沖縄県石垣市 石垣空港内会議室

3 対象地区 : 国営かんがい排水事業「石垣島」地区

4 委 員 : 井口 千秋 井口税理士事務所・井口行政書士事務所所長
友利 敏子 沖縄空輸(株)代表取締役社長
内藤 重之 琉球大学農学部教授
吉永 安俊 琉球大学名誉教授

5 議 事 :

沖縄総合事務局国営土地改良事業事前評価技術検討会（第一回）を開催し、平成26年度新規着工予定の国営かんがい排水事業「石垣島」地区について、現地調査、地元農家との意見交換及び関係資料の確認を行い、チェックリストに定める各評価項目について審議した。

質疑応答の概要は以下のとおり。

(委員)

チェックリストの優先配慮事項「事業費の経済性・効率性」の判定において、近傍地区として宮古伊良部地区と工事費の比較しているが、地上ダム地区と比較を行うべきではないか。

(沖縄総合事務局)

チェックリストでは揚水機場、用水路及び水管理施設について事業費の経済性を比較している。これらは地上ダムと地下ダムによって、機能や構造が異なるものではないため、比較については問題ない。

(委員)

本事業は、前歴事業の受益地と新規受益地があるが、その受益者の人数と、農家の負担金はどの程度になるのか。また最大の負担額どれくらいか。

(沖縄総合事務局)

関連事業の農家負担金及び前歴事業の受益地と新規受益地の受益者数については、確認して後日回答する。

(委員)

現地調査で農家の方々の話を聞かせていただき事業の必要性を理解したが、北部の新規受益地の農家においても、農業用水を求めているということか。

(沖縄総合事務局)

アンケート調査等により北部の新規受益地域から要望があることを確認している。

(委員)

チェックリストの優先配慮事項「農業生産性の維持・向上」の判定において、労働力生産性の維持・向上効果額と記載があるが、どのような効果か教えて欲しい。

(沖縄総合事務局)

作物生産効果、品質向上効果、営農経費節減効果及び維持管理費節減効果の4つの効果の内、営農経費節減効果及び維持管理費節減効果のことであり、事業を実施した場合としなかった場合の労働費、機械経費等営農経費、及び施設の維持管理費について比較し、それらの増減から年効果額を算定している。

(委員)

「事業の効用に関する説明資料」の中で割引率、還元率とあるが、どのようなものか。

(沖縄総合事務局)

割引率とは、現在価値化を行う際に使用している率であり、各年度に発生する費用と便益を、基準年であるH25年度に時点を合わせるために使用している。年4.0%の割引率を設定しているが、この値は全省庁の公共事業の効果算定において、統一した値である。

還元率とは、ある一定期間内に発現した効果の全体から、毎年の効果額（年効果額）を求めるために使用している率である。

(委員)

耕作放棄防止効果の還元率と地域用水効果の還元率の違いは何か。

(沖縄総合事務局)

「事業の効用に関する説明資料」に表記している耕作放棄防止効果と地域用水効果で還元率が異なるのは、設定している一定期間が異なるものであり、耕作放棄防止効果については本事業の評価期間である52年間、地域用水効果については対象施設である水利施設の耐用年数40年間をそれぞれ設定しているためである。

(委員)

次の技術検討会では、チェックリストの内容について適正な判定がなされているか審議し、事前評価を取りまとめることする。

以上